

地球温暖化による破滅的な気候変動を回避するために自然エネルギーを導入し、技術開発を進める動きが加速しています。世界は、20世紀の大量生産・一極集中型から分散・地産地消型へと経済社会が転換するターニングポイントを迎えてます。そうした状況にある地球の一員として、地域の自然エネルギー

「地エネ」を課題解決や地域づくりに生かす「地エネと環境の地域デザイン実行委員会」が2018年度発足し、さまざまな事業を展開してきました。この経験を基に、エネルギーと環境の視点による新しい地域デザインを広げる取り組みをさらに進めていきたいと考えます。

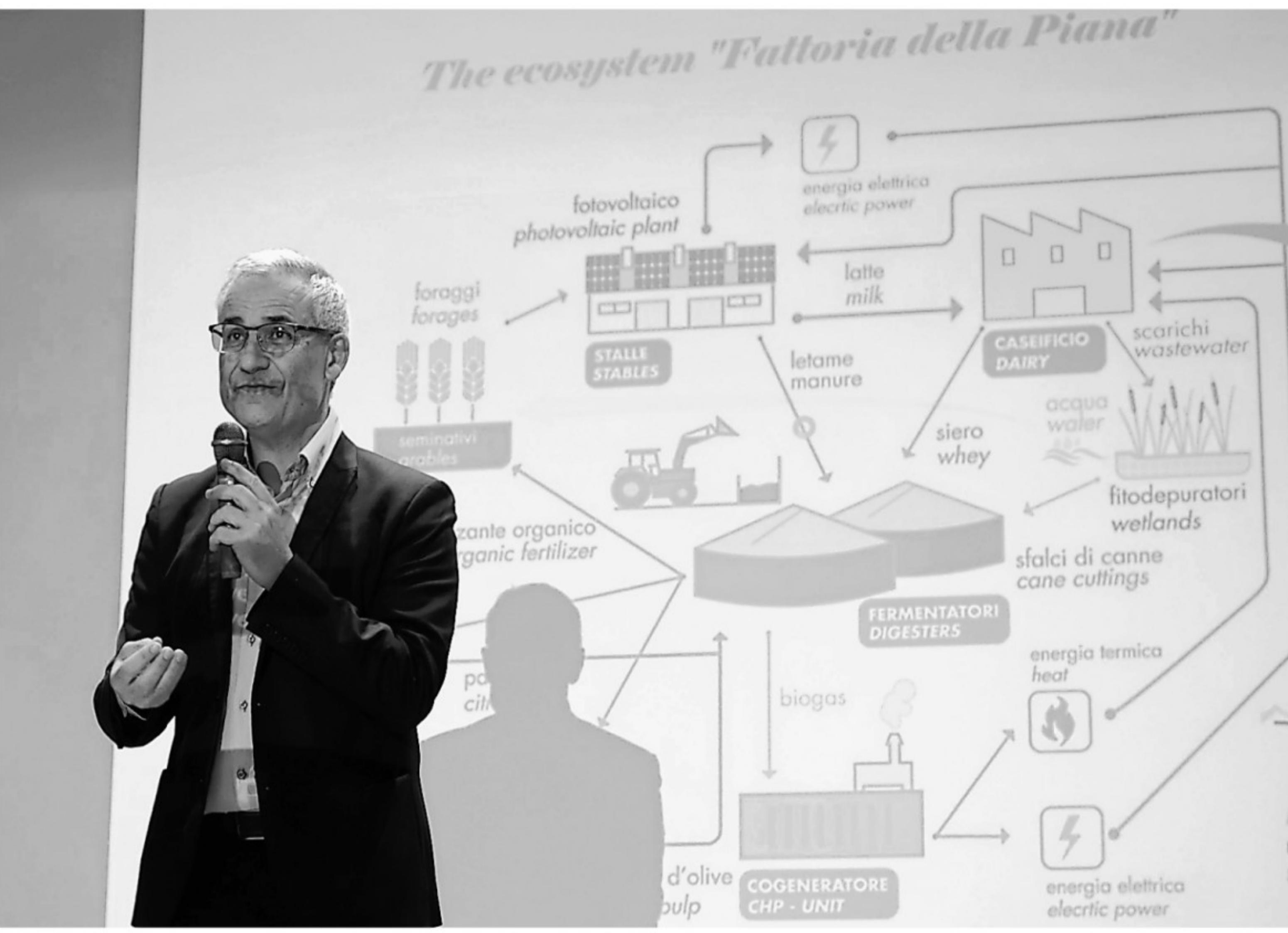
暮らしにもっと地エネを

地エネと環境の地域デザイン実行委員会は、キックオフイベントとしてバイオガスシンポジウムを開催しました。食にまつわる現場で、電力は一部自家消費して大半は地域に供給し、副産物の消化液は良質な液体肥料として飼料作物栽培などに利用。カルメロ氏は「自然をねようと期待が高まっています。

イタリア・カラブリア州の農業協同組合「ファットリア・デッラ・ピアナ」のカルメロ・バジレ代表が基調講演。牛900頭分に悩むオリーブの搾りかすをオリーの搾りかすとしてバイオガスシンポジウムで紹介されました。牛の粪尿は、近隣農家が地元の資源として期待が高まっています。

中央区の神戸新聞まつり会場(神戸市北区)の試みが報告されました。

○イタリアでの活動シンポで紹介



バイオガスシンポで資源とエネルギーの循環について説明する
カルメロさん=神戸市内

地域課題の解決や防災に生かす

地球温暖化に対抗、軽減

「地エネと環境」特集 第6回

1年の活動を振り返る

地エネと環境の 地域デザイン

「地エネと環境の地域デザイン実行委員会」は、NPO法人都市型農業を考える会、JA兵庫六甲、JA兵庫信連、兵庫県、神戸市、神戸大学、生活協同組合コープこうべ、神戸新聞社で構成。

○リン回収し肥料に



「こうべハーベスト」を使って栽培された野菜を見学する地エネツアー参加者=神戸市西区

○バイオガスを酪農に活用



親子でバイオガスを学ぶために開かれた体験学習会=神戸市北区、弓削牧場

○災害時にも太陽光調理器を



神港橋高校の生徒が子どもたちに、100円ショッピングで手に入る材料でできるソーラークッカーの作り方を教えた=神戸市中央区

兵庫から新しい地域デザイン 「協議会」発足へ

講演会、交流会を開催 分科会、子どもの体験学習も

主義、小水力など自然エネルギーをテーマとした講演会と交流会などを年に3回程度開き、課題テーマごとの分科会も開催します。

人気を集めた地エネツアーや、地エネを防災インフラとして生かす発想を育む体験イベント、子どもの体験学習も引き続き実施する予定です。さらに、地エネや環境への意識を地域で高めるための新たな商品開発なども進めたいと思います。

日本は江戸時代に太陽や水、植物資源を無駄なく生かす世界でもまれな資源循環社会を実現しました。そうした先人たちの地域デザインに学びつつ、今の技術や発想を生かして地球環境と調和した新しい地域デザインを描く取り組みを、兵庫から世界に発信していきたいと考えます。

身の回りに眠っている自然エネルギー「地エネ」に光をあて、持続可能な地域づくりにつなげます。そうした思いを基に、地エネと環境の地域デザイン実行委員会は2018年度、シンポジウムや子どもの体験、地エネ先進地のツアーや、防災と地エネをテーマとしたイベントなどを展開してきました。

従来の枠組みを超えた事業には多くの市民や企業が参加し、「地エネのことをもっと知りたい」「自分のところでも始めたい」などの声が寄せられました。

そうした声に応え、取り組みを発展させるため、人と情報が交わり、地域の新たな試みを生むプラットホームとなる「地エネと環境の地域デザイン協議会」を立ち上げたいと考えます。

協議会では、バイオガス、太陽光、里山資本主義をテーマにした講演会、交流会を開催

るワークショップ「ソーラークリッカーカーを作ろう!」を実施。100円ショッピングなどで手に入る材料で太陽光を集める調理器具を制作した子どもたちは身近なエネルギーを使う楽しさを味わいました。

東遊園地の食都神戸では、地域のたべもの祭りでは、神学院大学の防災女子とともに、もみ殻を固めた燃料「モミガライト」を使った災害食を披露しました。

街路樹のせん定枝などから無煙炭化器で作った炭で焼き鳥や焼き魚を実演。西区での「こうべ焼き鳥祭り」では、神戸学院大学の防災女子とともに、もみ殻を固めた燃料「モミガライト」を使った災害食を披露しました。

地エネと環境の 地域デザイン

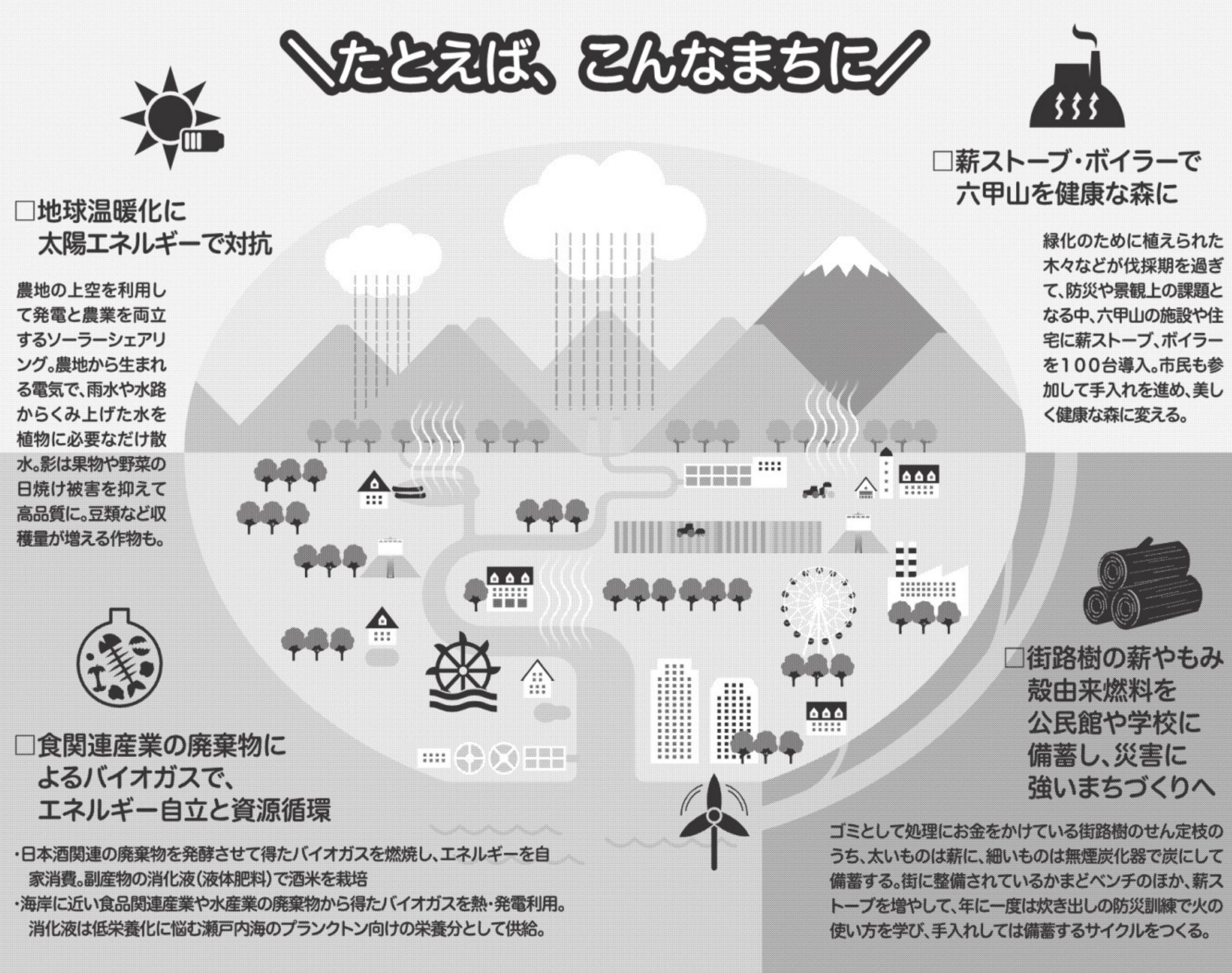
地域資源を活用した自然エネルギー(地エネ)を地域づくりに活かしていく。

地エネと環境の地域デザイン協議会

- ・テーマごとのセミナーと会員同士の交流会の開催
- ・事務局である神戸新聞社グループによる広報PRの活用
- ・会員有志による「課題テーマ」ごとの分科会の開催

●「地エネと環境の地域デザイン協議会」設立のお知らせ ●

2018年度、実行委員会形式で実施してきた「地エネと環境の地域デザイン」事業をより充実、発展させるために「地エネと環境の地域デザイン協議会」を2019年6月ごろに設立する予定です。協議会の会員募集を5月上旬ごろからはじめます。



PR事業概要

